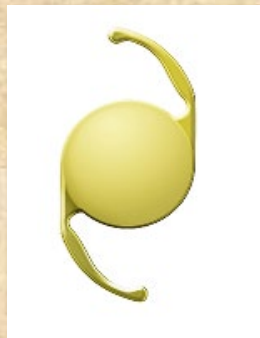


白内障手術

単焦点眼内レンズ <健康保険適用>



◆ Clareon

保険適用の単焦点眼内レンズです。遠近いずれかにメガネの併用が必要となります。通常のレンズと乱視矯正レンズの2種類があります。乱視矯正レンズは仕入れ価格が高く、精密な術前検査と移植に高度な手術技量を要するため、一般の施設では使用されておりませんが、術後乱視を軽減し良好な裸眼視力を提供できるので、患者さまにとっては非常にメリットの高いレンズです。当院では、「最高の白内障治療を提供する」という診療理念に基き、適応のあるすべての患者さまに乱視矯正レンズを使用しております。

通常の眼内レンズも乱視矯正レンズも自己負担額は同額です

			片眼手術	両眼手術
70歳以上	3割負担	現役並所得者	50,000円	90,000円
	2割負担	一般	30,000円	
	1割負担	非課税世帯等	I 15,000円	II 20,000円
70歳未満	3割負担	現役	50,000円	90,000円
		区分工	50,000円	70,000円
		非課税世帯等	44,000円	

2026年8月現在の概算金額。ゴーグル・クリーンコットン代等の保険外実費を含みます

多焦点眼内レンズ <健康保険適用・選定療養>



レンズの差額代金の他に保険診療のコストがかかります

「選定療養」とは、患者さまが多焦点眼内レンズと単焦点眼内レンズの金額の差額分を自己負担することで、健康保険を使って多焦点眼内レンズでの手術を受ける制度です。眼内レンズの仕入値は施設によって異なるため、負担額も異なります。手術代金は眼内レンズの差額分とは別に負担率に応じた費用が掛かり、診察の際には検査料、診察料、処方箋料が毎回掛かります。

この制度で使用できる多焦点眼内レンズは国内認可のレンズに限られます。国内認可の眼内レンズは多々ありますが、当院では臨床成績に優れた世界的に定評のあるレンズを厳選して使用しています。

◆ PanOptix

PanOptixはアメリカ製の3焦点眼内レンズで、遠方から近方まで連続的に見ることができます。ただしAT LISAや、FINE VISIONに比べると手元の視力がやや劣り、老眼鏡を必要とする場合もあります。夜間には光が滲み、街灯の回りに光の輪が見えます。最もコストを抑えて多焦点眼内レンズでの手術を希望される方に最適なレンズです。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
300,000 円(税込)	350,000 円(税込)

◆ PanOptix Pro

PanOptixの改良版。入射光線を3つの焦点に分ける際に生ずる光のロス PanOptixの12%から6%の半分に軽減し、100cmでのコントラストが16%改善されています。2027年1月以降、PanOptixの供給が終了するため、PanOptix Proのみとなります。

片眼 乱視矯正なし	片眼 乱視矯正あり
350,000 円(税込)	400,000 円(税込)

白内障手術

焦点深度拡張型レンズ <健康保険適用・選定療養>

◆ Vivity



レンズの差額代金の他に保険診療のコストがかかります

Vivityは屈折型の光学部設計により、PanOptixのような回折リングを持つ多焦点眼内レンズ特有の夜間の光の滲みや街灯の回りの光の輪を解消したレンズです。PanOptixに比べ、明るさコントラストに優れ、遠方から中間距離までは眼鏡なしで見えるという利点がありますが、近方視力が不良なため、老眼鏡の併用が必要となります。

進行した緑内障、加齢黄斑変性症、糖尿病網膜症、黄斑前膜などの併発症があり、通常の多焦点眼内レンズが適応でない方にも、使用可能です。視力は瞳の大きさに影響を受けるため、瞳孔径の小さい方、チン小帯が弱く眼内レンズの中心固定に問題がある方では、視力がでにくい場合があります。

片眼 乱視矯正なし

300,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

350,000 円(税込)

プレミアム単焦点レンズ <自由診療>



◆ SERENITY

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です



単焦点眼内レンズですが、独自の光学設計により遠方のみならず中間距離まで良好な視力が得られる次世代の眼内レンズです。新聞等の近見には老眼鏡が必要ですが、多焦点眼内レンズのような回折リングを持たないため、夜間のハロー・グレアの問題がなく、鮮明な夜間視力が得られます。従来の単焦点眼内レンズ並の明るさとコントラストを有するため、進行した緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病網膜症などの眼底病変により多焦点眼内レンズが適応外の方にも使用可能です。

従来のISOPUREに比べて、眼内安定性に優れた設計で、当院には世界に先駆けて特別供給されています。瞳孔径に関係なく良い視力が得られます。

片眼 乱視矯正なし

500,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

550,000 円(税込)

多焦点眼内レンズ <自由診療>



◆ FINE VISION HP

当院での手術成績は学術論文で世界的に高い評価を得ています

費用は検査・診察・手術・眼内レンズ・薬代を含んだ金額です



FINE VISION HPはFINE VISIONの光学部設計はそのままに、新たに開発された「疎水性アクリル素材」で作られた多焦点眼内レンズです。術後炎症が少なく、「後発白内障」が起こりにくい事。また術後何十年にもわたり眼内でレンズの劣化を生じないのが特徴です。乱視矯正のできないFINE VISION HPは、国内認可を受け、選定療養で使用されていますが、多焦点眼内レンズの手術で術後乱視が残ると、すべての距離で裸眼視力不良を起こし、術後に乱視矯正用のメガネが必要となります。当院では2024年8月に世界に先駆けてFINE VISION HP toricの移植が行われ、以来BVI社より特別に乱視矯正用レンズが供給されています。当院ではこれを自費診療で提供することができます。

片眼 乱視矯正なし

750,000 円(税込)

片眼 乱視矯正あり

800,000 円(税込)